

ミーアキャットの双子の赤ちゃん(両方オス)が2/12に誕生。お母さんは平成21年12月に長崎バイオパークから移動してきた「サキ」です。いつも家族で仲良くじゃれあって遊んでいます。

ミーアキャット



タンチョウのヒナ(性別不明)が5/27にふ化。(2羽ふ化したうち、1羽は6/3に肺炎で死亡。)当園では初の繁殖です。両親に大事に育てられてすくすくと成長しています。写真は生まれて二週間程度の、とてもかわいらしい盛り時のものです。

タンチョウ



4/16にニホンリスの赤ちゃんが生まれているのを確認。2組のペアから双子と、5つ子が生まれました。たくさんの子供が生まれたので、足りなくなった好物のオニグルミを、一般の方へ寄付を募ったところ、300キロを超える量を集めることができました。大変ありがとうございました!

ニホンリス



皆様からいただいたクルミ

2010 こんにちは!あかちゃん

今年もたくさんの赤ちゃんが生まれました!かわいらしい新しい仲間をどうぞよろしくお祈りします。

写真の動物の他、ニホンザル、ノドジロオマキザル、ニホンイヌワシ、アフリカテガミヤマアラシ、フンボルトペンギンの赤ちゃんも生まれています。



カンガルー

カンガルーの「トマコ」♀と「モモコ」♀のおなかの袋に赤ちゃん(両方オス)が入っていましたが、5月下旬以降、袋から顔を出すようになり、現在は2頭とも袋から出て遊んでいます。2頭ともお父さんは「デニーロ」です。写真はトマコとその子供です。



ワオキツネザル

ワオキツネザルの赤ちゃん(性別不明)が3/5と4/20に誕生。とっても元気なワオキツネザルの子供たちは驚くほどの素早さで、オリの中を所狭しと飛び跳ねます。たくさん仲間が生まれてすくすくと成長しています。



キンパドリ

平成11年以来で6/16と17にキンパドリのヒナが3羽ふ化(性別不明)。キンパドリは「秋田三鶏」のひとつです。(秋田三鶏:声良鶏・比内鶏・金八鶏)キンパドリは秋田県の天然記念物に指定されており、大変貴重な鶏です。

訃報 おわかれ

出会いがあると、別れもあります。残念ながら亡くなった動物たちもいました。ユキヒョウの「ライサ」♀が平成22年5月24日、老衰で死亡しました。日本の動物園では、長寿を誇ったユキヒョウで、たくさんの方に愛されていました。他にも生まれたものの死亡してしまった赤ちゃんもいました。ご冥福をお祈りします。



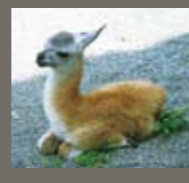
ユキヒョウの「ライサ」



チンパンジーの「ユータロー」(♂)平成22年3月25日生まれ。父ユミノスケ、母ココが平成22年5月24日死亡。死亡前日の夕方、ココの腕の中でぐったりしているユータローを発見し、直ちに治療をしましたが、頭を強く打ったことが元で残念ながら翌日死亡しました。



ニホンザルではとてもめずらしい双子が平成22年6月24日に生まれましたが、7月1日に2頭とも衰弱により死亡しました。



ラマの赤ちゃんが平成22年6月22日に生まれましたが、母親のミルクを飲むことができず、人工哺育などで対処していましたが、7月5日に肺炎等で死亡しました。

はじめまして! 移動動物紹介

元気でね!

ツキノワグマ



「ルビー」♀2005年1月12日生まれ
阿仁クマ牧場より平成22年5月27日に搬入。オスの「稔(ミノリ)」のお嫁さん候補としてやってきました。

トナカイ



「キリカ」♀2009年6月4日生まれ
釧路市動物園より平成22年5月22日に搬入。オスの「カイオウ」のお嫁さん候補としてやってきました。



ニホンイヌワシ

「颯(はやて)」♂
2008年3月25日ふ化
自然繁殖で両親に育てられた颯は、平成22年5月12日に那須どうぶつ王国へ搬出されました。貴重なイヌワシが増えていくよう、いつかお父さんになってほしいと思います。

動物舎リニューアル情報

トナカイ舎 (トナカイとせせらぎの森)



トナカイたちが、少しでも夏を涼しく過ごすことができるように、トナカイ展示場に水の流れを作り(総延長15mのせせらぎ(曲水路))、木陰を配するためにケヤキなどを合計10本植樹をしました。



カピバラ舎

以前はコンクリート敷だった屋外展示場に、土を入れ芝生を張り飼育環境を改善しました。

トラ舎 (旧ユキヒョウ舎)

ユキヒョウの「ライサ」の死亡により空いたユキヒョウ舎に、現在、アムールトラの「ミルル」♀を展示しています。高い場所でも寛く様子をご覧いただけます。



飼育日誌から (平成22年1月~8月)

飼育職員が日々記録している飼育日誌の一部を抜粋してご紹介します。

- 1/14 アシカ マヤ♀ 食欲ムラある。給餌中、ホッケをくわえたままプールに入り、そのままホッケで遊んでしまう。
- 1/15 アライグマ ケイ♀、リン♀ 除雪機がそばを通ると落ち着きなく動いていた。
- 1/29 ミニブタ 2頭共、午後ふれあいから事務所まで散歩。
- 1/30 ゾウ 本日暖かいため、15:10まで放飼。ダイスケ♀、花子♀とも四肢全てを洗浄し、オリーブ油で保湿。
- 2/1 レッサーパンダ 陸♀、ユウタ♀ 外で初めての同居開始。20分後に交尾確認。その後、3~5日、7日にも交尾確認。
- 2/8 ビーバー モリコ♀、マリオ♀ 根菜類を食べ終わった後にサクラの小枝を食べ始める。
- 2/10 コクチョウ ♂ プール内の氷を除去している時、大変攻撃的であった。
- 2/15 チンパンジー ボンタ♀の誕生日のため本日バースデー特別メニュー与える。
- 3/5 ユキヒョウ ライサ♀ 午前、室内から動かず。若干呼吸荒い。午後は外出。
- 3/12 フラミンゴ 15:30納舎。天気が良く、プールで水浴びする個体多数。
- 3/14 レッサーパンダ 陸♀とユウタ♀は外展示場。陸、鳴いていたが交尾はしていなかった。
- 3/17 ニホンカゲ 冬眠させていたが、地表に出てきていた。日中保温ライトを付けて2匹共に出てきて日光浴をしていた。
- 3/23 ユキヒョウ ライサ♀ 室内に嘔吐あり。獣医師へ報告。馬肉で投薬。

- 4/7 ラマ 妊娠していると思われるアンナ♀のお腹がまた目立ってきた。
- 4/18 カンガルー トマコ♀、モモコ♀達の仔良く動いている。餌食い良好。
- 4/29 オオカミ シン♀、キララ♀を展示。夕方収容。キララ換毛中。室内、展示ともに冬毛多く抜け落ちている。
- 5/24 ユキヒョウ ライサ♀ 朝、室内で死亡しているのを確認。老衰による衰弱死。
- 6/1 リス 10:30頃、どの部屋の仔も巣から出ていた。子供も外に出て採食していた。
- 6/22 ラマ アンナ♀ 午前出産。12:30起立するが、すぐ座ってしまう。何度か立ち上がるが、哺乳が確認できないため、人工哺乳を試みる。2回人工哺乳し、120ml飲ませる。前肢、後肢ともに不安定。
- 7/1 レッサーパンダ 陸♀ 朝、調子を見ようと箱を開けると出産していた。2頭の仔を確認(父親はユウタ♀) 産箱から出る気配がなかったため、エサを寝室においておく。その時、産箱に耳をあてると「ちゅっちゅっ」という音が聞こえたが授乳音かは判断できなかった。
- 7/2 レッサーパンダ 陸♀ ビデオでの確認だが、カサカサ音がするものの仔の鳴き声が聞こえないと思われる。陸のお乳が出ている様子が見られない。
- 7/3 レッサーパンダ 陸♀ 産箱から出ていたので産箱の中を確認するが何もなかった。床材を取り除くと尻尾の先(2.5cmほど)があったがそれ以外は何も見当たらなかった。陸による食害と思われる。
- 7/5 ラマ 仔 朝7時死亡確認。死因は肺炎、肺出血。
- 8/19 アシカ マヤ♀ プールに投げたボールをキーパーのところまで持っていくことが出来るようになった。
- 8/27 タンチョウ 親子 朝から展示場のシャワーをつける。